

士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施状況シート

1. 重点プロジェクト「農業未来都市創造事業」の実施状況

(1) やさしい農業農村づくり

【事業名: やさしい農業農村づくり事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.1】 地域資源を活用した学校教育推進事業	総合的な学習の時間を活用し、小学生が農業についての体験や学習を行うことで、農業への理解を深めるとともに、愛郷心の醸成を図る。	○小学校3年生から6年生までの児童を対象とした「農業学習」を実施した。 * 農業学習履修時間 35時間	○小学校3年生から6年生での児童を対象とした「農業学習」を実施する。 * 農業学習履修時間 40時間

重要業績評価指標(KPI)の推移

【Check(確認)】								評価・課題及び改善 【Action(改善)】
KPI項目	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
農業学習履修時間 【人】	計画	35	35	40	45	50	205時間	【達成】
	実績	35 [221]	35 [336]					

【No.2】 農業未来都市構想策定事業	農業後継者や新規参入者が円滑に研修できる体制を整備し、本市農業の振興発展に期するため、本市としてのシステム構築と将来ビジョンを策定する。	○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.3】 農業農村担い手支援事業	担い手の近代的経営感覚を養うとともに、経営規模拡大に向けた支援を行う。	○新規就農をめざす研修者に対し、研修費を助成した。 * 研修費助成 1件 ○新規就農者等の農地集積に向け、賃貸料及び制度資金利子を助成した。 * 賃貸料助成 28件 ○大都市圏で開催された就農相談会等へ参加した。 * 就農相談会(札幌) ○新規参入者に対して、農業生産に係る不動産の取得に伴う固定資産税相当額を助成した。 * 対象者 4名 ○研修生受け入れ農家に対し、指導経費として助成した。 * 1件 ○受入農家協議会を設立した。 (H28.10.17)	○新規就農をめざす研修者に対し、研修費を助成見込み。 * 研修費助成 1件 ○新規就農者等の農地集積に向け、賃貸料及び制度資金利子を助成見込み。 * 賃貸料助成 30件 ○大都市圏で開催された就農相談会等へ参加予定。 * 就農相談会(札幌) ○新規参入者に対して、農業生産に係る不動産の取得に伴う固定資産税相当額を助成見込み。 * 対象者 4名 ○受入れ農家協議会において、ホームページの活用等により就農希望者の募集の強化を図る。
【No.4】 しべつ農村塾運営事業	地域の農業者や関係者とともに農業のあり方を研修する。	○地域の農業者や関係者とともに農産物の収量向上に向けた取り組みを実施した。 ○学識経験者からの総合的な助言を受けた。	○地域の農業者や関係者とともに農産物の収量向上に向けた取り組みを実施する。 ○学識経験者からの総合的な助言を受ける。
【No.5】 グリーンパートナー推進事業	農業関係団体が連携し、「農業後継者配偶者対策」を実施する。	○市、農業委員会及び農協が連携し、都市の独身女性との交流の場として農業体験ツアーを実施した。 * 体験ツアー(1泊2日)1回開催 参加者28名(男14名・女14名)	○市、農業委員会及び農協が連携し、都市の独身女性との交流の場として農業体験ツアーを実施予定。 * 体験ツアー(1泊2日)1回開催

新規 就農者数	計画	11	7	8	9	10	45人	【課題】 ○新規参入者が少ないことが課題である。 【改善】 ○就農希望者の募集の強化を図る。
	実績	12	4					

【No.6】 移住促進事業	大都市圏からの移住者及び体験移住者の増加を図る。 特に、農業の新規就農者の移住者の増加をめざす。	○短期移住体験者を受入れた。 * 延 699人	○短期移住体験者を受入れする。
------------------	---	----------------------------	-----------------

移住 体験者数	計画	延 500	延 600	延 700	延 800	延 1,000	延 3,600人	【達成】
	実績	延 641	延 699					

【事業名: やさしい農業農村づくり事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.7】 サフォーク種羊振興事業	羊飼養者の定着化と経営の安定を図るため、飼養管理及び種雄導入の支援を行う。	○羊の飼養管理費や羊肉の流通促進等に対して助成した。 * 5戸 ○種雄導入に対して助成した。 * 1頭	○羊の飼養管理費や羊肉の流通促進等に対する助成を予定。 ○種雄導入に対する助成を予定。 ○新規飼養者への助成を予定。

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】					計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
羊新規飼養者戸数	計画	1	1	2	1	1	6戸	【課題】 ○効果的な就農支援体制の構築が課題である。 【改善】 ○「地域おこし協力隊」の制度活用した担い手確保をめざす。 ○収益性を高める畜産・畑作等との複合経営プランを新たに構築するとともに、就農に必要な物件等の紹介を含め、将来を描ける就農プランの提案を行い、飼養者の増加をめざす。
	実績	1	0					
羊飼養頭数(繁殖雌)	計画	550	600	700	750	800	800頭	【課題】 ○優良な後継羊の生産が課題である。 【改善】 ○種雄めん羊の導入等により優良な繁殖雌羊を生産するとともに、飼養者の増加による飼養頭数の拡大をめざす。
	実績	551	552					

【No.8】 農業体験受入事業	修学旅行や企業等の研修のための農業体験者を受け入れる。	○学校や企業等の研修のための農業体験者を受入れた。 * 延 378人 トヨタ工業学園 324人 愛媛農業大学校 54人	○学校や企業等の研修のための農業体験者を受入れる。 * 延 人 トヨタ工業学園 人 愛媛農業大学校 48人
--------------------	-----------------------------	--	--

農業体験者数	計画	延 200	延 300	延 300	延 400	延 500	延 1,700人	【達成】
	実績	延 356	延 378					

【No.9】 6次産業ネットワーク推進事業	本市の優れた農畜産物等を活用し、生産加工・流通を活性化するための体制づくりを行う。	○士別市産の農畜産物を活用し、6次産業化を行う農業者、農業団体を支援した。 * 事業件数 2件 (地方創生加速化交付金活用) ○6次産品PR・販売イベントを実施した。(愛知県豊田市) ○6次産業化の推進に向けて、関係事業者による意見交換会を開催した。 * 参加事業者数 10団体	○士別市産の農畜産物を活用し、6次産業化を行う農業者、農業団体を支援する。 * 事業件数 4件(予定) ○6次産業化の推進に向けて、関係事業者による意見交換会の開催を予定。
--------------------------	---	--	--

6次産業化支援数	計画	1	1	1	2	2	7件	【達成】
	実績	2	2					
新規販路開拓件数	計画	1	1	1	2	2	7件	【達成】
	実績	1	1					

(2)おいしい農業農村づくり

【事業名: おいしい農業農村づくり事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.10】 ふるさと給食事業	地元の優れた農産物等を活用し、小中学校の給食において食することで農業への理解を深める。	○士別市産の農畜産物を活用した給食を提供した。 * 実施回数 7回	○士別市産の農畜産物を活用した給食を提供する。 * 実施回数 8回予定
【No.11】 6次産業ネットワーク推進事業 *再掲 No.9	6次産業取組者と農畜産物等の直売者のつながりを強めるとともに、商品PRの強化等を図る。	【No.9】参照	【No.9】参照

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】					計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
ふるさと給食実施回数	計画	7	7	8	8	8	38回	【達成】
	実績	7	7					
【No.9】参照								

(3)がんばる農業農村づくり

【事業名:がんばる農業農村づくり事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.12】 ICT農業推進事業	作業の効率化、安定化を図り、経営規模の拡大をめざし、ICT化を推進するための研修等を実施する。	○ICT農業に関する研修会を実施した。 *参加者 延 125名 ○GPS移動局の導入を推進した。 *GPS移動局数 10件 (地方創生加速化交付金) ○コントラクター組織への自動操舵システム導入を支援した。 ○ICT営農支援システム実証実験を実施した。 (地方創生推進交付金)	○ICT農業に関する研修会を実施する。 *参加者(予定) 延 150名 ○ICT営農支援システム実証実験を実施する。 (地方創生推進交付金)

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】						計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			
ICT農業研修者数	計画	延 100	延 100	延 150	延 200	延 200	延 750人	【達成】	
	実績	延 136	延 125						
GPS移動局導入件数	計画	4	—	—	—	—	—		
	実績	4	10						

【No.13】 安全・安心農業ふれあい事業	地場農産物の消費拡大を図り、地産地消を推進するためイベントを開催する。	○「しべつまるかじりフェア」「産業フェア」の開催を支援した。 *イベント参加者 19,100人 まるかじりフェア 1,100人 産業フェア 16,000人 復活!朝日町商店街(北のうまいもの市) 2,000人	○「土別ビートまつり」「産業フェア」の開催を支援する。 土別ビートまつり(7/2(日)開催予定) 産業フェア(8/27(日)開催予定) 復活!朝日町商店街(10月上旬開催予定)
--------------------------	-------------------------------------	--	---

イベント参加者数	計画	延 17,700	延 16,000	延 19,000	延 17,000	延 21,000	延 90,700人	【達成】
	実績	延 18,200	延 19,100					

【No.14】 農業研修施設整備事業	新規就農に向けた研修及び農業体験が可能な施設の整備を行う。	○研修施設のあり方等について検討を進めてきた。	○受入農家協議会等と連携し、今後の研修施設のあり方等について検討を進める。
-----------------------	-------------------------------	-------------------------	---------------------------------------

新規就農者数【再掲】	計画	11	7	8	9	10	45人	【事業No.2~5のKPIに記載】
	実績	12	4					
農業体験者数【再掲】	計画	200	300	300	400	500	1,700人	【達成】
	実績	356	378					

2. 重点プロジェクト「合宿の聖地創造事業」の実施状況

(1) やさしい合宿地づくり

【事業名: 合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.1】 合宿招致活動事業(海外)	一層の合宿者の増加を図るため、また2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、海外からの合宿の招致活動を展開する。	○台湾ウェイトリフティング合宿招致に向けた取り組みを展開した。*台湾訪問2回 ○合宿パンフレットを活用した海外競技団体、国内大使館へのPRを展開した。	○中華民国舉重協会との協定を締結し、合宿招致を実現する。 ○日韓国際交流ウエイトリフティング大会を開催し、合宿の里しべつをPRする。
【No.2】 外国語研修事業	海外からの合宿者のおもてなしに資するため外国語研修を実施する。	○オリンピック・パラリンピック等経済界協議会との連携により、台湾の文化を学ぶ講演会を開催した。	○引き続き外国の言語や文化を学ぶ機会を提供する。
【No.3】 合宿招致イベント開催事業	合宿の里士別を内外に発信し、合宿者増加を図るため、PRイベントを開催する。	○各種大会に出向き招致活動を展開し、合宿招致に向けPRを実施した。	○合宿の里士別を内外に発信するため、効果的なPRイベントを検討する。
【No.4】 外国語対応招致パンフ作成事業	合宿者の増加を図るため、国内外に向けてのPRパンフレットを作成する。	○平成27年度に作成した合宿招致PRパンフレット(英語併記)を活用し、海外へのPRを展開した。 (地方創生加速化交付金活用)	○合宿招致PRパンフレット(英語併記)を増刷
【No.5】 外国語併記案内看板作製事業	本市で合宿する海外選手にもやさしい案内看板を設置する。	○陸上競技場に英文字を併記した施設誘導看板を設置した。 *誘導看板設置 1カ所 (地方創生加速化交付金活用)	○H28年度で事業完了
【No.6】 合宿の聖地構想策定事業	より充実した環境で合宿できるよう、「合宿の聖地」をめざす将来ビジョンを策定する。	○より充実した合宿受入環境について検討を進めた。	○「合宿の里士別ステップアッププラン」の見直しを行う。

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】						評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
合宿者数	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【課題】 ○各競技施設の老朽化のなか、概ね達成ではあるものの、さらなるステップアップのため改善が必要。 【改善】 ○限られた財源を有効に活用し、老朽化対策を進めるとともに、各チームのニーズに合った取り組みを継続して展開する。
	実績	延 20,961	延 21,886					
新規招致チーム数	計画	2	2	3	4	5	延16 チーム	【達成】
	実績	4	9					
海外チーム招致数	計画	1	1	2	2	2	延8 チーム	【達成】
	実績	1	1					
ナショナルチーム招致数	計画	3	3	3	3	3	延15 チーム	【達成】
	実績	4	3					

【事業名: スポーツ合宿推進事業】

【No.7】 合宿招致活動事業(国内)	一層の合宿者の増加を図るため国内の大学、実業団、中央競技団体へ招致活動を展開する。	○各種スポーツ大会での招致活動を展開した。 ○各チームの拠点への訪問による招致活動を行った。 ○海外チーム及びパラリンピック競技団体(ウィルチェアーラグビー)に対して招致活動を実施した。 (地方創生加速化交付金活用)	○合宿招致効果の高いスポーツ大会やチームの拠点訪問での招致活動を展開する。 ○海外チーム及びパラリンピック競技団体に対してさらなる招致活動を展開する。
【No.8】 合宿受入れ事業	合宿選手受入れにあたっての送迎をはじめ、市民との交流を促進する。	○これまでの取り組みを継続し、空港等への送迎や宿泊先の調整などに取り組んでいる。 ○ウィルチェアーラグビーの受入れの調整を行った。	○空港間の送迎体制の徹底や宿泊先の調整などきめ細かな対応を実施する。 ○ウィルチェアーラグビーの体験会の開催など、パラアスリートとの交流を促進する。
【No.9】 合宿の里推進協議会補助金	官民一体となった合宿推進を行う体制を整備する。	○東京オリンピック・パラリンピックや障がい者スポーツに対する取り組みを推進するため、関係機関を構成員に加え協議会の体制を強化した。	○協議会加盟団体の主体的な取り組みを促進し、地元企業や飲食店等との連携を進める。 ○市民応援ツアーの開催など、市民協働の合宿の聖地づくりをめざす。
【No.10】 ランニング教室開催事業	合宿中の選手によるランニング教室やオリンピックデーランのスポーツ教室などを通じ、市民の競技力の向上を図る。	○これまでの取り組みを継続し、合宿選手による陸上教室、オリンピックデーランでスポーツ教室を実施した。	○トップアスリートによる陸上教室をはじめ、各種スポーツ教室の開催により、スポーツに親しむジュニア世代の育成・拡大に向けた取り組みを推進する。

合宿者数(再掲)	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1~6のKPIに記載】
	実績	延 20,961	延 21,886					
新規招致チーム数(再掲)	計画	2	2	3	4	5	16 チーム	【達成】
	実績	4	9					
スポーツ教室参加者数	計画	250	300	350	400	500	延 1,800人	【達成】
	実績	181	344					

(2)おいしい合宿地づくり

【事業名:合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.11】 合宿選手対応メニュー開発事業	合宿選手向けに地元農産物等を活用した士別ならではのメニューを開発する。	○地元食材を活用した合宿メニュー4品を開発し、合宿チームへの試食会を開催した。 (地方創生加速化交付金活用)	○地元食材を活用した合宿メニューの開発を継続し、合宿チームへの提供のみならず、市民への還元をめざす。

重要業績評価指標(KPI)の推移

【Check(確認)】								評価・課題及び改善 【Action(改善)】
KPI項目	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
新規メニュー開発品目	計画	2	2	3	3	5	15品目	【達成】
	実績	8	4					

(3)がんばる合宿地づくり

【事業名:合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.12】 低酸素室整備事業(朝日地区)		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.13】 林道クロカンコース整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.14】 陸上競技運営システム整備事業	競技力の向上をめざし、各種機器や器具、設備等を整備することで、合宿地としての魅力向上を図る。	○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.15】 運動施設整備機器更新事業		○陸上競技器具を整備した。 * 棒高跳び用マットなど	○卓球台、防球フェンス整備
【No.16】 ウェイトリフティング器具整備更新事業		○ウェイトリフティング合宿に伴う器具を整備した。 * 仮設プラットホーム作成 * ウェイトリフティング競技用備品	○H28年度で事業完了

重要業績評価指標(KPI)の推移

【Check(確認)】								評価・課題及び改善 【Action(改善)】
KPI項目	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
合宿者数(再掲)	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1~6のKPIに記載】
	実績	延 20,961	延 21,886					
新規招致チーム数(再掲)	計画	2	2	3	4	5	16チーム	【達成】
	実績	4	9					

【事業名:合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.17】 スポーツイベント開催事業	合宿の聖地としてのイベントの進化を図り、参加者にとって意義あるものとする。	○イベント参加者数 デスタンスチャレンジ士別大会 154人 ハーフマラソン大会 2,163人 オリンピックアスリート大会 1,809人 全日本サマーキャンプ朝日大会 92人 全日本サマーコンバインド朝日大会 129人 全日本ジュニア&レディースサマーキャンプ朝日大会 115人 2016合宿の里士別サマーキャンプ交流大会 52人 朝日ルディックスキー大会 386人 (地方創生加速化交付金活用)	○各種イベントの開催 デスタンスチャレンジ士別大会 ハーフマラソン大会 オリンピックアスリート大会 全日本サマーキャンプ朝日大会 全日本サマーコンバインド朝日大会 全日本ジュニア&レディースサマーキャンプ朝日大会 2017合宿の里士別サマーキャンプ交流大会 朝日ルディックスキー大会

重要業績評価指標(KPI)の推移

【Check(確認)】								評価・課題及び改善 【Action(改善)】
KPI項目	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
イベント参加者数	計画	延 4,000	延 4,500	延 5,000	延 5,500	延 6,000	延 25,000人	【達成】
	実績	延 4,369	延 4,900					

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.18】 トレーニングセンター整備事業	あらゆるスポーツの基礎となるウェイトトレーニングやランニングが可能な施設を整備する。	○総合体育館サブアリーナ(旧青少年会館)の改修とトレーニング室の拡大を図り、スポーツ施設の整備を行った。	○H28年度で事業完了

合宿者数(再掲)	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1~6のKPIに記載】
	実績	延 20,961	延 21,886					
新規招致チーム数(再掲)	計画	2	2	3	4	5	16チーム	【達成】
	実績	4	9					

【事業名：合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	平成28年度 実施 【Do(推進)】	H29年度 実施 【Do(推進)】
【No.19】 無線LAN構築事業	合宿者のための宿泊環境を整備し 利便性を向上する。	○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.20】 洋室照明整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.21】 井水装置整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.22】 循環ポンプ整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.23】 大浴場改修事業等		○スポーツ合宿センター(士別 inn 翠月)の 「大浴場改修」「空調エアフィルタ交換」「和室 改修」「レストラン・研修室等壁張替」工事を 実施した。	○H28年度で事業完了

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】						計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
合宿者数 (再掲)	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1～6のKPIに記載】	
	実績	延 20,961	延 21,886						
新規招致 チーム数 (再掲)	計画	2	2	3	4	5	16 チーム	【達成】	
	実績	4	9						

【No.24】 宿泊室バリアフ リー化事業	障がい者スポーツの振興と2020東京 オリンピック・パラリンピックを見据 え、宿泊室のバリアフリー化を図る。	○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
-----------------------------	--	-------------	-------------

障がい者 スポーツ の 合宿者数	計画	延 12	延 12	延 20	延 20	延 30	延 94人	【達成】
	実績	0	延 39					

【事業名：朝日地域交流センター整備事業】

【No.25】 施設修繕事業	合宿者のための宿泊環境を整備し 利便性を向上する。	○冷蔵庫・冷凍ストッカーの導入により宿泊環 境を整備した。	○H28年度で事業完了
【No.26】 エアコン・カーテン 整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了

重要業績評価指標(KPI)の推移

合宿者数 (再掲)	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1～6のKPIに記載】
	実績	延 20,961	延 21,886					

士別市まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI

○重点プロジェクト数値目標

		基準値(年度)		実績(年度)		数値目標	
数値目標	合計特殊出生率	H24	1.36	H27	1.36	H31	1.5
	有効求人倍率(倍)	H26	1.18	H28	1.24	H31	1.2
	高校卒業者地元就職率(%)	H26	35.3	H28	48.0	H31	50.0
	健康な高齢者率(%)	H26	82.5	H28	82.3	H31	85.0
	交流人口(人)	H26	398,824	H28	448,947	H31	456,700

○重点プロジェクト1 農業未来都市創造事業 重要業績評価指標(KPI)

		実績(年度)				数値目標	
KPI 項目	農業学習履修時間(時間)	H27	35	H28	35	H31	延 205
	新規就農者数(人)	H27	12	H28	4	H31	延 45
	移住体験者数(人)	H27	641	H28	699	H31	延 3,600
	羊新規飼養者戸数(戸)	H27	1	H28	0	H31	延 6
	羊飼養頭数(繁殖雌)(頭)	H27	551	H28	552	H31	800
	農業体験者数(人)	H27	356	H28	378	H31	延 1,700
	6次産業化支援数(件)	H27	2	H28	2	H31	延 7
	新規販路開拓数(件)	H27	1	H28	1	H31	延 7
	ふるさと給食実施回数(回)	H27	7	H28	7	H31	延 38
	ICT農業研修者数(人)	H27	136	H28	125	H31	延 750
	イベント参加者数(人)	H27	18,200	H28	19,100	H31	延 90,700

○重点プロジェクト2 合宿の聖地創造事業 重要業績評価指標(KPI)

		実績(年度)				数値目標	
KPI 項目	合宿者数(人)	H27	20,961	H28	21,886	H31	延 115,000
	新規招致チーム数(チーム)	H27	4	H28	9	H31	延 16
	海外チーム招致数(チーム)	H27	1	H28	1	H31	延 8
	ナショナルチーム招致数(チーム)	H27	4	H28	3	H31	延 15
	スポーツ教室参加者数(人)	H27	181	H28	344	H31	延 1,800
	新規合宿メニュー開発数(品目)	H27	8	H28	4	H31	延 15
	イベント参加者数(人)	H27	4,369	H28	4,900	H31	延 25,000
	障がい者スポーツの合宿者数(人)	H27	0	H28	39	H31	延 94